

阿波市議会だより

第26号 [平成25年3月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話 0883-35-4118 FAX 0883-35-4150
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

平成24年第4回(12月)

阿波市議会定例会の概要

12月定例会は、12月3日から21日までの19日間の会期で開かれました。開会日には野崎市長から、平成25年度当初予算編成について、新庁舎及び交流防災拠点施設建設事業の今後の予定について、小・中学校耐震補強工事の進捗状況などについて説明があり、国民文化祭、防災訓練や災害協定などについて行政報告がありました。このあと、平成24年度一般会計補正予算などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問では、10人が市政全般について考えを問ひ、新庁舎及び交流防災拠点施設関係、農業振興関係、道路整備関係、教育関係、防災・減災などについて論議されました。

12月14日に文教厚生、17日に総務、産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案がいずれも可決されました。

また、地方自治法改正に伴い、阿波市議会会議規則と委員会条例の一部が、議員発議により改正されました。

代表質問

三浦 三二 議員
(阿波みらい)



問 野崎市長が市政運営に携わってきた4年間の総括について。

答 「あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間・阿波市」づくりの早期実現のため、常に市民の目線に立ち、市民生活を最優先に考えた市政の実現に努めることに重点をおいてきた。今後も市民とともに歩み、公平、公正、クリーンな基本として、市民の誰もが住んでよかった、これからの住み続けたいと思える生きがいを感じられるまちづくりに全力を注ぎたい。

問 県道香美吉野線の改良促進について。

答 本年度拡幅改良工事が着手されたが、堤防下が県道である道路については、事業費の安い

問 県道宮内牛島停車場線の進捗状況について。

答 本年度は実施設計書の作成と補償調査を行う予定である。本路線は国道192号線と主要地方道鳴門池田線間を結んでこそ効果を最大限に生かすことができる。一日も早い全線改良に向け、県と一体になって取り組みたい。

榎原 伸 議員
(阿波清風会)



問 阿波市財政健全化計画の見込みと対策について。

答 新庁舎建設事業などの大型事業の予定であるが、合併特例債など有利な市債発行を予定しているほか、国営吉野川北岸かんがい排水事業の償還が26年度末に完済することなどから、将来的にも健全化は維持できる見込みである。今後も第二次集中

原田 定信 議員
(志政クラブ)



問 改革プランにより引き続き行政改革に取り組んでいく。

答 国の強い農業づくり交付金事業の推進により大規模養豚施設の整備、県のエコ畜産チャレンジ支援対策事業でのたい肥処理施設の充実や飼料自給率向上など、様々な支援事業と畜産農家の自助努力で活性化を図っていききたい。

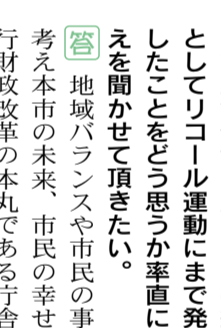
問 阿波市におけるいじめの実態、対策について。

答 昨年度の調査では、小学校で7件、中学校で5件。その実態は多様であるが、いずれもきめ細かく事情を聴き、ほとんどが解決や解決の方向に向かっていく。教育委員会としても毎月校長会で協議や意見交換会を行い、いじめについては予防、早期発見、早期解決に努め学校全体で取り組む体制としている。

問 食育推進都市と宣言し、食育基本条例を制定する考えは。

答 平成23年に食育推進計画を阿波市健康増進計画とあわせて策定し、阿波市健康づくり推進会議を開催しながら、食育や健康づくりの推進を図っている。今後は関係機関等と協議、検討したい。

原田 定信 議員
(志政クラブ)



問 新庁舎建設について、耐震工法から、免震工法に変更されたが、そのメリット、デメリットは。また、3階建ての本市の庁舎に3億5千万円もの事業費を有する免震構造は必要か。身の丈にあった計画か。

答 本施設は災害時に、応急対策の指揮及び情報発信を行う対策本部としての役割や、支援物資や災害ボランティアの受け入れ等、活動の拠点施設となる。また、大地震後の建物の機能維持や短期間の復旧を図る事が可能なため免震構造に設計変更した。内装や仕上げ様の工夫により単純に工事費アップにならないよう努力する。

問 白鳥荘は現在改修もできず、休館状態にあるが今後の様に取組んでいくのか。

答 白鳥荘は活断層の直上付近と想定される。最終判断は県条例施行日の平成25年4月1日以降に5千分の1の図面が公表さ

一般質問

笠井 高章 議員
(阿波みらい)



問 市営住宅ストック総合活用計画における建て替え事業について。

答 平成22年度に策定した市営住宅ストック総合活用計画は、平成24年度より国の社会資本整

吉川 精一 議員
(阿波みらい)



問 小学校的耐震補強工事について児童生徒の安全・安心の観点から出来るだけ早く完了させたい。

答 平成25年度には、市場小・林小学校、26年度に予定していた八幡小・柿原小学校の耐震補強工事を前倒しして、25年度に実施を予定している。また26年度に、阿波中学校技術室を阿波学校給食センター跡に移転すると、耐震化率100%になり、耐震化事業は完了する。

問 給食センターの地産地消、食材の納入に対して、どのように組織づくりをして調達していくのか。また給食の配送事業について。

答 学校給食地産地消推進計画の策定を行うこととして、策定委員会を設置し、資料の収集・調査・専門的な検討を行う。調理配送業務の民間委託についてもメリット、デメリットを検証し、引き続き検討していきたい。

問 津波等の防災の観点から、海岸部から内陸部への移転を考えている企業の誘致の取り組みについて。

答 よりよい阿波市独自の制度の改善に努めながら、粘り強く企業誘致の活動を続けていきたい。

江澤 信明 議員
(阿波清風会)



問 旧4町の一体化により、水道事業は増加したが、職員数が

限られているので、業務の一部を民間委託したらどうか。

答 条例定数の11名体制で事業運営している。管路の耐震化、配水施設の整備等のため、業務の民間委託を前向きに検討したい。

問 人口減少により、水道使用料金が減少する中、水道事業維持のため、水道料金の値上げは考えているか。

答 施設の長寿命化を図り、できる限り、現在の水道料金を維持したい。

問 交流防災施設で青少年が集うための対策は。

答 コンサートや、合唱等の音楽関連の演奏会や演劇の鑑賞などに利用し、青少年に集ってもらいたい。

問 庁舎施設内で、子供たちが遊ぶことができる遊具を少し設置するなど、遊びの感覚を取り入れてはどうか。

正木 文男 議員
(阿波清風会)



問 市内道路網の整備に際し、福祉のまちづくりのために、電動カーが安心して走行できる自歩道路網の整備を進めるべきと考えるか。

答 高齢化が進む中、交通弱者保護の観点で、電動カーの安全走行を念頭に置いた歩道整備を、県道、幹線市道において、計画的に取り組んでいきたい。

問 昭和の好景氣時に建設された道路、水路等の公共財が耐用年数近くなってきたり、長寿

命化や防災減災対策が望まれるがその対応は。またストックマネジメント手法を取り入れた総合的な社会基盤整備構想も考慮すべきと考えるが。

問 重要な修繕対象橋梁は185橋あり、橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に取り組んでいる。また耐震対策や長寿命化対策等を総合的に取り組む整備構想も検討していきたい。

問 市内の歴史遺産の状況は。特に土成町にある御所の地名の由来となった土御門上皇の行宮跡について、阿波市のPRや観光振興のために整備を進める考えはないか。

答 阿波市には、国、県、市指定の文化財の古墳や城跡等が70件指定されており、文化財保護法に基づき保護、保存している。土御門上皇行宮跡については、文化財保護審査会で審議していくとともに、商工観光課や市観光協会と協議しながら、観光のPRに取り組みしていきたい。

木村 松雄 議員
(志政クラブ)



問 船戸切幡上板線の拡張工事の進捗状況及び、今後の見通しは(特に土成町分)。また市の見解は。

答 本年度において、九頭宇谷川の橋がかかり、その東西840mの工事を現在行っている。新庁舎建設予定地より土成町方面へ500mの区間について改良する予算が用地費の一部についている。幅員の狭い箇所、待避所等の整備を早く進めるよう県に要望していく。

問 阿波市の防災・減災について市民の安全・安心観点から今後どう進めていくのか。

れる震度分布被害想定や特定活断層調査区域の内容等を注視しながら来年度地域防災計画の見直しを行っていく。

問 自主防災組織の代表者を複数年して頂けるよう働きかけはできないか。

答 一般的に自助7割、共助2割、公助1割といわれている。災害の規模が大きくなればなるほど、地域での支え合いが必要となる。地域防災力の向上、活動の充実のために、自治会長とは別の複数年会長をやっていただけの方がベストである。消防団など、防災知識や、その対応に経験のある方に会長を受けて頂けるよう今後働きかけていきたい。

森本 節弘 議員
(志政クラブ)



問 新庁舎及び交流防災拠点施設建設工事について発注方法、市内企業の施工参入、市内への経済波及効果はどのくらい見込まれるか。

答 技術提案を求める条件付き一般競争入札総合評価方式によりゼネコンをメンバーとした、契約相手が一つとなる一括発注にしたいと考える。また、入札参加企業から市内業者に対する下請実施目標額を提示してもらい、市内業者の活用を図ってきたい。経済波及効果については工期約2年間で、延べ作業員数を6万人と想定しており、総務省産業連関表を用いて「県内への効果」という条件をつけるなど、約69億円の経済波及効果額を見込んでいる。

問 公共工事発注及び用地取得について工務専門職員の配置と用地取得の必要性はないか。

名の採用予定としている。用地取得係については、県のように用地担当、工事担当に分かれるのではなく、現在の市においては、工事内容を把握した工事担当者が、用地交渉の段階から施工まで、一貫して行っていくのが一番望ましいと考えている。

問 辺地対策事業の改良工事についてもっとスピードアップをはかってほしいという声があるが。

答 平成23年度から25年度の3年計画で伊沢谷地区において1億9千万円の事業を行っている。次の平成26年からの3カ年計画策定時には、要望のある路線、地域の意見を十分聞きながら計画を立てていきたい。

藤川 豊治 議員
(阿波みらい)



問 特色ある阿波市の農業施策と農産物のブランド化の進捗状況について。

答 阿波市農業振興計画重点プロジェクト推進会議を設置し、13品目を「ブランド育成商品」として選定している。さらにこの中から選定して、「阿波市ブランド」を確立したい。23年度実績としては、農業振興事業費2398万7千円、市補助金768万円である。今後もJAや関係団体とともに農産物のブランド化を推進したい。

問 本市において高齢者ひとり暮らしの人は何名いるのか。また、どのような対策を講じているのか。

答 平成24年11月末現在の65歳以上のひとり暮らし高齢者は2204人。主な支援策は民生委員・児童委員による見守り活動、老人クラブの友愛訪問活動、緊急通報装置貸与事業、本年度事業として救急キットの配布事業などがある。

活動状況報告

●阿波市国民健康保険 特定健康診査受診率向上キャンペーン

平成24年11月7日、市民の健康と医療費抑制の啓発対策として、特定健康診査の受診率の向上と糖尿病などの生活習慣予防のため、市内4カ所において、阿波市国民健康保険運営協議会とともにキャンペーンを実施しました。



●阿波市総合防災訓練

平成24年11月18日、阿波町久勝小学校において、近い将来起こるとされる南海トラフでの3連動地震を想定した阿波市発足以来の大規模な防災訓練に参加しました。



自主防災組織をはじめとする15団体、総勢526名の参加者の真剣なまなざしに、あらためて防災に対する備えの重要性を認識しました。

●徳島県市議会議員研修会

平成25年1月31日、徳島市において県市議会議員研修会が開催されました。



各市から多数の議員が出席し、法政大学法学部教授の廣瀬克哉氏による「地域分権改革と今後の自治体の役割」と題した講演がありました。

各議員が熱心に耳を傾け、有意義な研修となりました。

●委員会等の開催状況

12月14日	文教厚生常任委員会	平成25年
12月17日	総務常任委員会	2月14日 議会広報特別委員会
	産業建設常任委員会	2月18日 議会運営委員会
	庁舎建設特別委員会	
12月18日	地域活性化インターチェンジ調査特別委員会	
	全員協議会	

詳しくは、阿波市HPに掲載しているよ。



平成24年第4回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第77号	平成24年度阿波市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第78号	平成24年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第79号	平成24年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第80号	阿波市ケーブルネットワーク施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第81号	土地地域資源活力工場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第82号	阿波市立阿波図書館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第83号	阿波市立市場図書館及び阿波市立市場歴史民俗資料館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第84号	阿波市立土成図書館及び阿波市立土成中央公民館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第85号	阿波市立吉野笠井図書館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第86号	阿波中学校校舎地震補強工事のうち中校舎その他工事変更請負契約の締結について	原案可決
発委第2号	阿波市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
発委第3号	阿波市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決

お気軽に傍聴にお越しください



議会だより 編集雑感

木の芽のふくらみ、花のつぼみに春を感じる嬉しい季節となりました。国においては、経済・教育・外交をスピード感と実行力で立て直そうとしています。阿波市にとっても、行政の本丸といわれている新庁舎建設に向かって着実に進み、大きな基盤を築きあげようとしています。我々議員も、市民に寄り添い、声を聴きながら、市民の笑顔がみえる、元気なまちをめざしていきたい。市民の花が集まり、大きな花となり、いつまでも咲き続けますように… (阿部雅志)

